



会場風景。藤井正雄大正大学名誉教授は、日本の葬儀事情と仏教との関わりについて、習慣や風俗にもスポットを当てながら解説した

た。また、2005年に行われた全日仏と全葬連との対話についても発言。宗教者と葬儀社との話し合いについて、フランスの発表者からも大きな関心を寄せていた。

㈱白寿殿、「儀車」を復元

㈱白寿殿（宮城県塩釜市）は、同社倉庫に保管されていた「儀車」を復元し、このほどオープンした「白寿殿多賀城」に展示した。

この「儀車」は同社の二代目店主、菅原仁三郎氏が1920年に東京馬車製作所に製作を依頼したもので、大きさは長さ約3.8m、幅約1.5m。

大正から昭和にかけて野辺送りに使用されており、戦後間もない頃まで富裕層の間で利用されていたが、霊柩車の普及によって利用する機会もなくなっていた。

修復は京都市の宮大工が行い、全体を塗り直し、囲いの外側に施されている天女の本彫りには金箔を配した。修復費用は高級車1台が購入できるほど費やしたという。

今回復元された「儀車」は、同社としては5店目となる「白寿殿多賀城」のオープンにあわせて1階展示場に備えられ、12月13、14日

の両日に行われた内覧会でお披露目された。

見学者からは「思っていた以上にコンパクト」「儀車が使用された時代に思いを馳せた」などの感想が寄せられたという。

仏壇・仏具関連

認定マークを添付

㈱はせがわ、

シックハウス対策を徹底

お仏壇の㈱はせがわ（福岡県福岡市）は、同社が企画・販売する仏壇に、シックハウス対策を徹底することとしている。

これまで、新築住宅の建設にあたっては、シックハウス症候群の原因となるホルムアルデヒドやトルエンなどの室内濃度指針値が国で設定されているが、室内の家具や仏壇は適用外となっている。そのため同社では安全性に考慮して、建築基準法の範囲内の建材、塗料、接着剤などを使用した安全な商品を企画、販売するとともに、それらの商品に、認定マークを添付することとした。

現在まで対象となっているのは、国内と中国・威海の提携工場で製造している商品だが、その枠を今後広げ、3月以降からは、他の工場で生産された製品にも統一した認定マークを添付したいとしている。

日本香堂、米国インセンス3ブランドを取得

㈱日本香堂（本社：東京都中央区）は、12月23日、同社100%出資

の米国子会社を通じて、米国の家庭用品メーカーであるウィラート社よりインセンスを中心とした3ブランドを取得した。

今回、同社グループが取得したブランドは、「Concherto（コンチェルト）」「The Scented Garden（センチッド ガーデン）」「Spritual Sky（スピリチュアル スカイ）」で、合計の年間売上は約200万ドル。これにより、約1,800万ドルと推計される米国インセンス市場にあって、同社グループの売上見込みは、1,000万ドル規模となる見通し。日本、韓国に続き、米国でもインセンス市場において、トップシェアを確立することとなる。

米国では健康や環境、自然、文化に対して関心を寄せている生活者層が拡大しており、それに伴いインセンスの市場もさらに発展が期待されているという。

㈱ハウスボートクラブが海洋散骨と手元供養の相談窓口をオープン



手元供養品展示スペースには50点以上の商品が並び

海洋散骨の㈱ハウスボートクラブ（本社：東京都江東区）は1月5日、海洋散骨および手元供養の相談窓口として「BLUE OCEAN CEREMONY」を東京・江東区にオープンした。

かおりをつくる—決め手は「感性」。

究極の技術で、高い品格の

材料を選び、季節を考え、

おせんこう

薫寿堂の

宝と花琳
たから
かりん

有名佛具店に有ります。

● 神戸薫寿堂

営業本部 〒657-0835
神戸市灘区灘北通り9丁目1番17号
TEL. 078-802-0400(代)
FAX. 078-802-0828



店内には散骨証明書など、海洋散骨に関する資料も展示されている

海洋散骨を行う人の中でも、遺骨の一部は手元にとっておきたいと希望する人は多く、そうした声にも応えた形だ。店内にはお香や、遺骨を入れるペンダント、小型の骨壺など、50点以上の手元供養関連商品が展示されている。

「散骨がしたいがどこに頼めばよいかわからない」「大切な人の遺骨を少しでも分けていつも身近においておきたい」といった、散骨や手元供養、ペット供養などに関する相談を受け付ける。

また、同社ではオープンに伴って火葬と散骨をセットにした新サービス「海洋家族葬」も開始しており、葬儀相談も受け付けていくとしている。

●問い合わせ先

TEL 03-3643-3642

(株)ハウスポートクラブ

墓石・霊園関連

八王子市、
合葬式墓所を4月から運営

市営緑町霊園内に合葬式墓所の建設を進めている東京都八王子市は、2009年4月からの運営開始に向けて、1月15～28日まで利用者の募集を行った。

緑町霊園は、市の中心部にあることもあって人気も高いが、再募集の数も限られている。そのため、土地を有効に利用して墓地需要に対応できる合葬式墓所が計画された。

施設は、鉄筋コンクリート地上1階、地下1階で、納骨堂2千基、地下の合葬室は4千体の規模となっている。

継承者のいない人や生前からの予約も可能で、第1期は1体用50体、2体用250体を募集する。また、周辺環境に配慮して、四季の移り変わりを取り入れた外壁とモニュメントも整備している。

●問い合わせ先

TEL042-620-7231

八王子市役所市民課

島田市、墓地建設のための
候補地の調査を開始

静岡県島田市では、同市初の公営墓地の建設を計画しているが、このほど墓地の建設可能調査について、同市中央区の大鐘測量設計に委託した。

現在、市内で5ヵ所ほどが候補地に上がっているが、それぞれについて、3月末を目処に、立地条件、墓地の規模や区画数、納骨堂の是非、総事業費、使用料などを調査検討し、総合的な判断から墓地建設地を決定する。また、決定した土地の地権者への説明や用地取得などを経て、建設に着手していくこととしている。

●問い合わせ先

TEL0547-37-5111

島田市環境課